



ナブテスコリンク株式会社

所在地 垂井町府中

栽培品目 いちご、トマト、ジャガイモ等

障がい者数 9名(身体・知的・精神)

※障がい者の雇用に特別な配慮をした子会社。一定の要件を満たす場合、子会社で雇用している障がい者を親会社に合算して、雇用率を算定できる。

◎お互いを思いやる職場、健常者と障がい者がともに働きやすい職場づくりをめざして

機械メーカーのナブテスコ株式会社 が平成27年に設立した特例子会社*で、業務内容は主に、農業とグループ企業からの名刺印刷作業や文書電子化等の事務作業を行っています。会社で生産された農作物は、工場内の社員食堂で食材として使用しているほか、工場や地元の直売所で販売しています。

会社には、ジョブコーチの資格を取得したスタッフが常駐し、日頃から言葉の使い方や物事の伝え方などに注意しています。例えば、ある知的障がいがある社員に夏場は適度に水分補給するよう言葉で伝えても「自分の

お茶がもったいない」「脱水症状的感覚がない」と言って水分を取ろうとせず、黙々と働いていました。障がい者に思いを伝えて、物事を進めるには、状況をよく観察したうえで、より噛み砕いた指示を出したり、サポートしたりすることが必要であり、これは他のどの仕事にも通じるものがあります。

今では、障がいがある社員も農機具の安全な使用方法を身につけ、各自が一人で機具を扱えるようになっていきます。また、栽培管理だけでなく、農産物販売にも取り組むことで、生産する喜びとそれを買ってもらう喜びを体感でき、意欲的に取り組む姿が見られるようになってきました。今後、社内販売以外の比率を増やし、さらに農産物の売上を増やしていきたいと担当者は語ります。



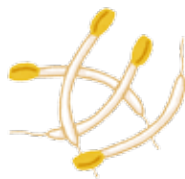
イチゴハウス内での管理作業

三宝化学工業株式会社揖斐川食品事業所

所在地 揖斐川町島

栽培品目 モヤシ

障がい者数 1名(身体的)



◎根気よく話しかけながら思いをくみ取る努力を

昭和22年創業の無機化学品メーカーで、昭和55年に食品部門を立ち上げました。水の豊かな揖斐川町でモヤシの栽培を開始し、地元スーパーや市場に出荷しています。

平成29年4月、特別支援学校の企業実習がきっかけで障がい者の受入を始めました。栽培室で大きなフォークを使ってモヤシの掻き出し作業を担当してもらっています。同社の生産体制は365日、従業員のシフトや働き方も様々なため、障がいも個性として普通に受け入れている社員がほとんどです。特別な対応というものはありませんが、口数が少なく、思いをうまく表現できない部分もあるため、西濃障がい者就業・生活支援センターとも連携して、根気よく話しかけながら思いをくみ取る努力を続けています。

今では、作業のコツもつかんで上手に仕事をこなしており、体力仕



モヤシの掻き出しは体力仕事

事ではありますが、忍耐強く作業してくれています。毎日のミーティングでは、少しずつ業務の進捗状況を発言する姿も見られ、成長を感じています。今後、モヤシの掻き出し作業だけでなく、栽培室の洗浄や機械メンテナンス、包装作業など無理のない範囲で少しずつ業務の幅を広げていけたらよいと会社の方は語ります。